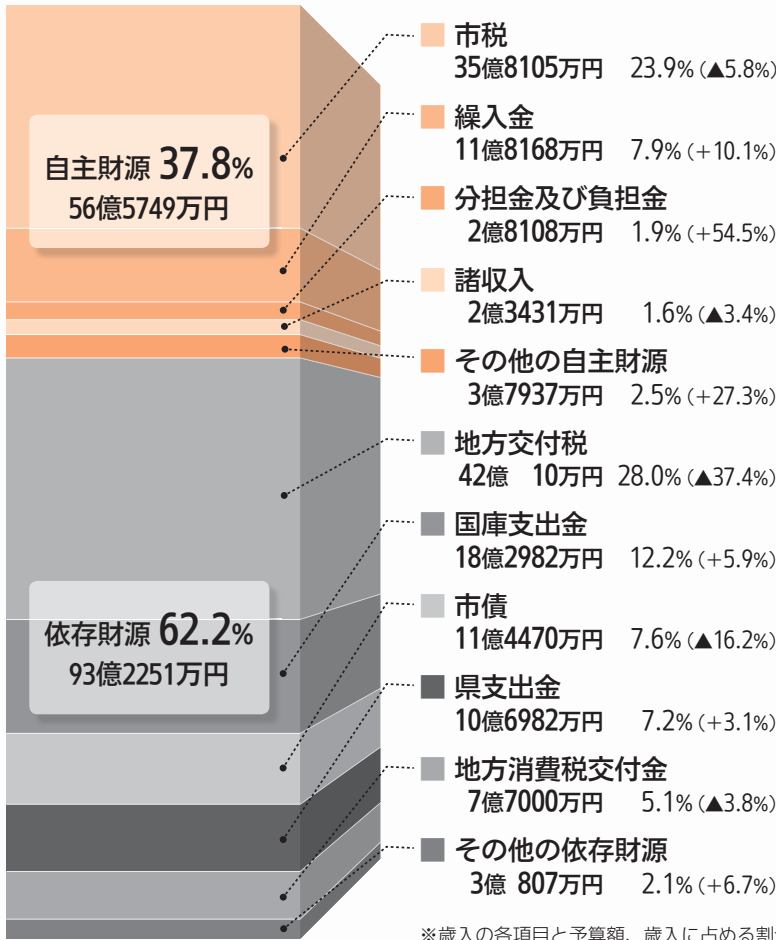


一般会計 歳入



※歳入の各項目と予算額、歳入に占める割合。
カッコ内は同項目の前年度比増減。

一般会計に 149億 8000万円 を計上

令和3年度当初予算が3月定例会で可決され、一般会計は前年度比14・5%減の149億8000万円、特別会計と合わせた総額は、同8・9%減の271億1413万円となりました。

問 財政課財政班 ☎73・0085

予算規模は

前年度から大幅に減少

一般会計

行政の基本的な施策を行う一般会計では、「一つ上のまぢづくり」の実現に向け、第2次匠瑤市総合計画や市長マニフェストなどに掲げる施策を推進し、優先的に取り組むべき事業へ財源を重点的に配分しています。

▼ドーム改修工事やコロナ対策費を計上

地方交付税に加え、税収も減少

歳入では、東総地区広域市町村圏事務組合で行う一般廃棄物処理事業の特別会計負担金に係る震災復興特別交付税の減少により、地方交付税が大幅に減っています。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による給与所得減少などのため市税が約2億2000

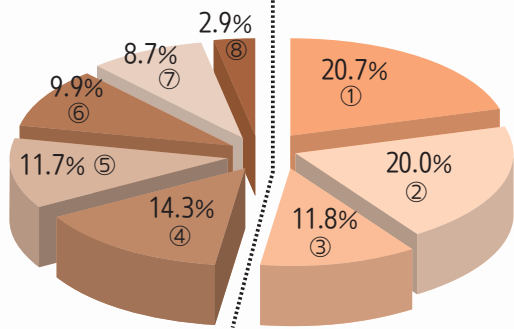
歳出では、東総地区広域市町村圏事務組合で行う一般廃棄物処理事業の特別会計負担金が大幅に減少するものの、老朽化した八日市場ドームの屋根や外壁などの改修工事に2億2800万円を計上し、投資的経費が前年度から4億円以上増加しています。

また、新生児の聴覚障がい早期発見・早期療育を図るため、聴覚スクリーニング検査費用の助成や、日本防災士機構が認証する「防災士」の

一般会計 歳出

性質別の歳出項目とその割合

任意経費 47.5% 義務経費 52.5%



① 扶助費	31億1052万円	⑤ 物件費	17億5530万円
② 人件費	29億9804万円	⑥ 繰出金	14億7777万円
③ 公債費	17億6332万円	⑦ 投資的経費	13億106万円
④ 補助費等	21億3688万円	⑧ その他	4億3711万円

▼「義務経費」と「任意経費」

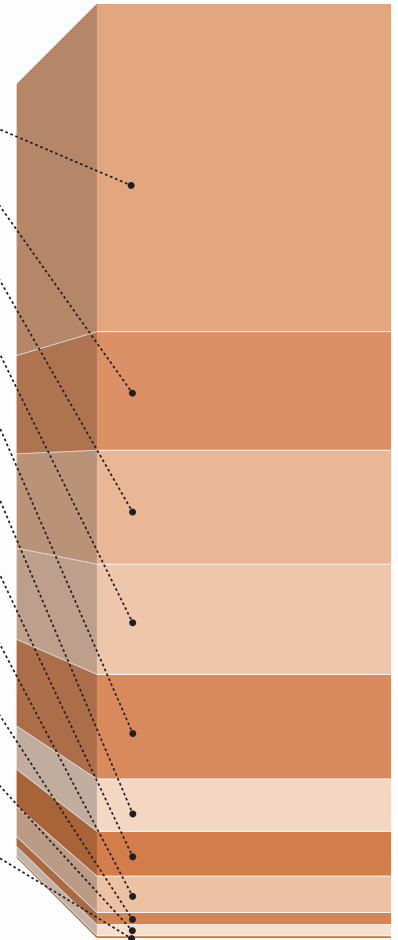
地方自治体の経費のうち、支出が義務付けられ、任意に削減できない人件費や公債費、扶助費を「義務経費」といい、対して、任意で削減が可能な経費を「任意経費」といいます。

予算は、義務経費の割合が小さいほど財政に弾力性があり、柔軟な編成が可能となります。

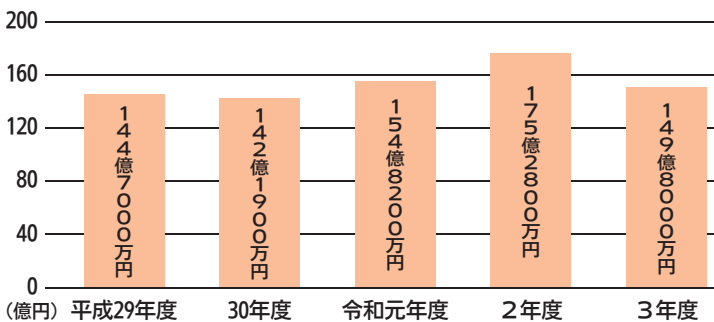
目的別の歳出項目

民生費	52億6282万円	35.1% (+1.3%)
教育費	19億734万円	12.7% (+12.6%)
総務費	18億2432万円	12.2% (▲5.6%)
公債費	17億6332万円	11.8% (+3.1%)
衛生費	16億7174万円	11.2% (▲63.0%)
土木費	8億3674万円	5.6% (+6.7%)
消防費	7億2673万円	4.8% (▲1.7%)
農林水産業費	5億9033万円	3.9% (+7.7%)
商工費	1億9628万円	1.3% (▲3.1%)
議会費	1億7536万円	1.2% (▲2.0%)
その他	2502万円	0.2% (0.0%)

※歳出の各項目と予算額、歳出に占める割合。
カッコ内は同項目の前年度比増減。



■一般会計当初予算の推移



■特別会計の会計別予算額

会計名	令和3年度	前年度比
国民健康保険特別会計	46億1544万円	▲2.2%
後期高齢者医療特別会計	4億9996万円	+4.7%
介護保険特別会計	39億3316万円	+4.4%
病院事業特別会計		
収益的支出	28億8200万円	+3.8%
資本的支出	2億357万円	▲57.9%
計	121億3413万円	▲0.7%

特別会計

資格取得に係る費用の助成を新たに実施します。新型コロナウイルス感染症対策としては、予防対策の周知チラシ作成や、小・中学校などの衛生用品の購入に係る経費を計上しています。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行うため、一般会計と区別して経理する会計です。市では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護

保険、病院事業を特別会計とされています。
これら4事業の総額は121億3413万円、前年度に比べ0.7%減となりました。各事業では、国民健康保険は前年度比2.2%減、後期高齢者医療は同4.7%増、介護保険は同4.4%増となつています。病院事業会計では収益的支出は同3.8%増、資本的支出は同57.9%減となっています。